

未来の教育が ここから生まれる。



兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也

<兵庫教育大学基金へのご支援のお願い>

同窓会のみなさま、日頃から兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、これまでに兵庫教育大学基金へ多くのご寄附をいただき、改めて感謝いたします。

この基金により、既に多くの学生が海外派遣プログラムや地域貢献プログラムへの参加を実現しています。これからも、教職員一同、学生の修学支援や教育環境の更なる充実に取り組んでいく所存でございます。今後とも、本基金の趣旨をご理解いただき、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫教育大学基金の活用事例

グローバル化推進事業 アジア文化研修プログラム（ベトナム）

ベトナム・バリアブントウ教員養成大学にて、学校教育や日本語を学ぶ現地学生と交流し、ベトナムの小学校などの学校教育現場を訪問するほか、中国・フランスなどの文化的影響を受けながらも独特の発展を遂げてきた南ベトナムの人々の暮らしと文化を体験しています。



参加した学生の声

5 日間の研修もあっという間に感じるほど、非常に充実したものになりました。ベトナムの学校現場に触れ、現職の教員と話す機会をもてたことは、今後の教師人生においても大きな糧になると確信しています。今は、自分が見て感じたことを日本にいる子どもたちや先生方に伝えたいという強い気持ちでいっぱいです。

グローバル化推進事業 欧州文化研修プログラム（フィンランド）

フィンランドにおける学校教育を学ぶとともに、本学協定大学のユヴァスキュラ大学にて、フィンランドの学校現場を体験するための模擬授業、日本文化の紹介などを行っています。



参加した学生の声

研修を通して、フィンランドの教育に直に触れることができたことは、これから教師になっていく私にとってとても大きな経験になりました。それと同時に、これまで私が学び、経験した日本の教育にも素晴らしい点があることを実感できました。フィンランドでは、子どもの可能性を信頼した児童中心の学習形態。日本では、子どもが落ちこぼれることがないように手厚い支援を取り入れる学習形態。それぞれにメリットがあり、デメリットがあります。ただ、どちらの国にも共通することは、「すべては子どもたちのために」と言うことです。今回の経験を生かし、良いところをどんどん吸収し、組み換え、自分のものとしオリジナリティあふれる教師を目指していきたいです。

地域連携事業 サイエンス祭（小野市との連携事業）

学校の授業ではじっくりと触れることのできないような実験機器を用意し、子どもたちが自主的に科学実験を楽しみ、理科と科学への興味・関心を育むことを目的として開催しています。本学の学生も企画段階から運営に参加し、子どもたちの感動体験を創り出すための活動を行っています。



参加した学生の声

「子どもたちに理科を楽しんでもらうためにはどうすればいいか知恵をしばり、工夫を凝らすことはとても勉強になりました。教師を目指す者としてこの経験は今後に活かせると思いました。」

「子どもたちの反応を直に見ながらふれあう経験は、学生にとっても有意義なものだと思います。」

教育研究環境整備事業 教材文化資料館

授業実践の改善に資する教材文化資料を収集・発信する場としての活動を行っています。

収蔵品は、本学が収集してきた教科書や指導資料、教材などのほか、本学元教員や地域の方々から寄贈された歴史的に価値の高いもの、また全国の学校現場から収集した現在の授業実践に関する資料などです。これらの資料をもとに、年二回の企画展を実施しています。



2019 年度前期展「人と木のひととき」

参加した学生の声

「色々な種類の木で作られた玩具は、種類ごとに重さや触り心地、香りも違っておもしろいと思いました。」

「座学では学べない、体でしか感じられないものを感じることができた。」

「加東市に木はたくさんあるけれど、実際に触れてみたことは少なく、本展を通じて自然って無限に遊べるなという気づきがありました。」